

新着図書

2021年11月～2022年2月受入分

請求記号	タイトル	著者	出版社
498.2/ス	中絶がわかる本	ロビン・ステュー ブソン/著	アジュマ
611.3/イ	食べものが足りない!	井出留美/著	旬報社
816.8/フ	カキナーレ	深谷純一/編 著	東方出版
836/タ	ドラゴン・イングリッシュ基本 英文100	竹岡広信/ 著	講談社
911.3/ナイ	夏井いつきの世界一わかり やすい俳句鑑賞の授業	夏井いつき/著	PHP研究所
911.56/ハサ	詩集『青猫』より 乙女の 本棚	萩原朔太郎/著	立東舎
913/アナ	この素晴らしい世界に祝福 を! 12	暁なつめ/著	KADOKA- WA
913/シミ	傲慢な王と呪いの指輪	篠原美季/[著]	講談社
913/ヒリ	火狩りの王 外伝	日向理恵子/作	ほるぷ出版
913/ヤカ	セカイを科学せよ!	安田夏菜/ 著	講談社
913/ヤユ	弱キャラ友崎くん Lv.10	屋久ユウキ/ [著]	小学館
F/キマ/11	素材採取家の異世界旅行 記 11	木乃子増緒/ [著]	アルファポリ ス
F/ツミ	かがみの孤城	辻村深月/著	ポプラ社
933.7/ヒク	少女と少年と海の物語	クリス・ヴィッ ク/著	東京創元社
963/オン	蛇口	シルビナ・オカ ンポ/著	東宣出版

TEENS Libra

ティーンズ ライブラ 2022年春号(No.29)

過去からの道。未来への道。
 剣道、茶道、書道に柔道、合気道。
 主人公たちが迷い、悩みながらもひたむきに進んだ道。
 キミならどんな道を歩いてみたい？

道を進む

こまき電子図書館
ティーンズ
絶賛配信中!



連載コラム

本好きさんになろう!

コロナ禍の先がなかなか見えませんが、感染対策は気を緩めずに続けていきましょう。
 さて、先日書架で「イラストで見ると、昭和の時代には確かに存在した、今はなきニニ種類の仕事、イラストとともに紹介されています。」

そういえば、私は昭和後半期の生まれですが、近所には「桐屋(おけや)」、棒屋(ぼうや)、畳屋(たたみや)が存在し、その家は名字ではなく「〇〇屋の〇〇さん」と呼んでいました。
 あれから半世紀、コンビニには何でもあり、通販で買えば数日で届くし、モノや情報は簡単に手に入り、どこまで進化するか、これ以上の進化に不安さえ覚えます。

まだ使えるものでも買い換えて、辛抱、我慢は過去の言葉になったようです。

人は生計を立てるため、何らかの職業を選択しますが、その職業は時代とともに移り変わってきました。今は消えてしまった仕事について、その楽しみや悲しみを想像しながら、改めて読んでみたいと思わせる本でした。

このティーンズライブラが皆さんの読書のきっかけになればと願っています。(久)

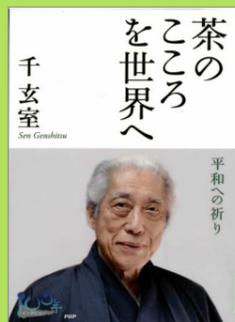
特集 道を進む

それぞれの道

剣の道

茶の道

修める道



17歳のうた

坂井希久子／著
文藝春秋
F/併

かまえ!

ぼくたち剣士会

向井湘吾／著
ポプラ社
F/並

茶のこころを

世界へ

千 玄室／著
PHP研究所
791.2/併

修道院の

お菓子と手仕事

終こずえ／著
早川茉莉／著
大和書房
198.25/ち

地方に住んでいても、親がいなくなっても、夢しなくても、好きな人がいても、女であっても。

5人の女の子が17歳で選ぶそれぞれの道をオムニバス形式で描く短編集です。

住む場所も育った環境も全く違う主人公達が悩み、怒り、喜ぶ姿は、今を生きるすべての17歳に向けた著者からの応援歌に思えます。

また、かつて「17歳」だった親世代にとって感慨深い歌が各話のタイトルとして使われていて、親子で読んで、話しあってもみたくなる、そんな1冊です。

高校入学後、友達も作らず趣味のパズルに没頭できてそこそ楽しい日々を送っていた主人公は、隻腕の同級生の強引な勧誘に負けて剣道の同好会に入会するはめに。

パズル×剣道という異色の組み合わせですが、でこぼこと評される個性派ぞろいの仲間達と勝利を目指す姿に胸が熱くなります。

これもおすすめ!

桃山ビート・ドライブ

天野純希／著 集英社文庫
ありえたかもしれない史実?! 天下人にビートで弓弾く4人のロック道!



抹茶味って好きですか? お抹茶って頂いたことはありますか?

この本を読んでみると、著者のご先祖である千利休が今から約450年前に戦乱の世に広めた茶の文化の「こころ」がとてもよく分かります。

実際に特攻隊員として戦争の凄まじさを経験したからこそ、一服のお茶が国境や立場を越えて心を通わす大切な文化であると教えてくれます。

修道院とは、キリスト教で、神とともに生きることを選んだ人々が、厳しい戒律(信仰生活において守る規律・規則)に従って暮らす場所です。宗教を修めるという意味で「修道院」と呼ばれています。

この本は日本各地の修道院で作られているお菓子や、ポストカードなどの雑貨を紹介しています。

どうして修道院でお菓子が作られているのかわかり、味わうことで、静かな心の安らぎを得ることができるような気がします。

ひたむきに弓道に打ち込む高校1年生の凛は、師匠の家にある弓道場で矢の刺さった男性が倒れている事件に遭遇してしまいます。これは事故か? 殺人か? 部活や試合を通じて人間関係や自分の力量に悩み迷いながら成長していく青春小説でありつつ、各話に謎解き要素のあるミステリー小説でもある今作。

この作品を書くために弓道を習い初段を取ったという著者の弓を引く場面は、主人公の心理描写が巧みで引き込まれます。ぜひ読んで感じてみてください。

凛の弦音

我孫子 武丸／著 光文社 F/併

弓の道



即興で花を活ける その時間はわずか5分

2人ひと組舞台の上で花を活け、その美と情熱を競う花生けバトル、別名「花の甲子園」

主人公・春乃と、とある家業(←さすが今村さん)を支える転校生・貴音が挑む、今しかできないバトルの行方は? 第166回直木賞作家が描く、ケレン味溢れる青春小説です!

ちなみに、2021年度全国高校生花いけバトルは90チーム380人が出場し、本年1月に決勝大会が行われました。

詳しくは大会公式HP <https://hs.hanaikebattle.com/> をチェック!

ひゅっか!

今村 翔吾／著 文響社 F/併

華の道



「誰も僕を必要とする人間なんていない」就活生のみのは、就職活動をするものの内定がなかなかもらえず、休学中の大学生です。

そんな時、偶然出会ったコンサルタントの紡に、車で全国の神社を巡る旅をしないかと誘われます。北は宗谷岬から、南は沖縄の神社から神社へ、ゴールと決めた伊勢神宮までの長い道のりの中で、のみのは自分の進むべき道を見つけることができるのでしょうか。

神社めぐり二人の旅の中で、参拝の正しい順序や神様の名前、御朱印帳など神道にまつわるあれこれも学べます。

神様ドライブ

浜口倫太郎／著 講談社 F/併

神への道



「ひふみん」の愛称でテレビでも明るい笑顔振りまく将棋棋士の加藤一二三さんの自伝小説です。一二三(ひふみ)の名前の由来から始まり、6歳で将棋を覚えてからの幼少年期時代、14歳7カ月でのプロデビュー(藤井聡太さんに破られるまで、最年少記録)当時の事、対戦棋士との思い出話など、読み応えある本です。途中、将棋の手について書かれているので将棋未経験の方にはピンとこない場面もありますが、全体を通しては、諦めずに続ける事の大切さを教えてくれる内容です。テレビとは一味違う「ひふみん」に出会えます。

鬼才伝説 私の将棋風雲録

加藤一二三／著 中央公論新社 796.02/並

指し示す道



■ 紹介作品(50音順) ■

- かまえ!ぼくたち剣士会
- 神様ドライブ
- 鬼才伝説
- 修道院のお菓子と手仕事
- 17歳のうた
- 茶のこころを世界へ
- ひゅっか!
- 桃山ビート・ドライブ
- 凛の弦音

2022 春